

遊びを發展させる環境構成の在り方とは

－ 6年間の実践の整理・分析を基にした一考察－

小森谷 一 朗 幼児教育科

(2021年9月30日受理)

〔 要 約 〕

本研究は、これまでの幼稚園教諭としての保育実践を振り返り、幼児の遊びについて整理するとともに、幼児の遊びを發展させるためにはどのような環境が有効であったのかについて明らかにしようとするものである。園内環境は園庭とテラスに限定して行った。幼児の遊びは、固定遊具、園庭の中央、テラスに比較的多くの幼児が集まり、遊びを展開していることが分かった。そして、事例をもとに考察を行い、それぞれの場の特徴を押さえ、教師の見通しをもった環境構成が必要であることが明らかになった。また、園庭の環境において、樹木の存在は大切な要因であり、教師が遊びの見通しをもち、植栽を考えていく必要があることが明らかとなった。

I 問題と目的

平成29年に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定・改訂された。その根幹とも言える「子どもに育成すべき資質・能力(三つの柱)」が幼児期の教育から高等学校までを通じて系統的に示され、それらが育まれている修了時の具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」が明示された。このことから、育ちの土台や学びの土台としての幼児期の教育の重要性がうかがえる。一方で、「環境を通して行う教育」を基本とすることはこれまでと変わらず、幼児の主体的な活動である遊びや生活の中で、幼児が感性を働かせてよさや美しさを感じ取ったり、不思議さに気付いたり、できるようになったことなどを経験として生かしながら、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることなどを通じて教育していくことが重要であることが示されている。(註1)(註2)(註3)

幼児にとっての「環境」というと、幼児を取り巻く全ての「ひと・もの・こと」を指すが、とりわけ小川¹⁾は「園内環境は、子どもにとって物理的に一番身近で、ほとんど毎日、子どもが有形無形にかかわっている世界であり、そのかわりが目に見えないものであっても、大きな影響を与えている」としている。また、柴崎²⁾は「子どもが自ら学びたくなるような環境を保育者が豊かに用意し、子どもがその環境にかかわることの意味を保育者が感じとり、子どもに達成感や成功体験を味わえるようにしていくことが『環境を通しての教育(保育)』である」としている。した

がって、幼児期にふさわしい経験をし、ふさわしい生活を展開させるためには、保育者は意図的で計画的な園内環境を構成することが不可欠であると言える。

これまで、6年間、幼稚園教諭として保育実践に携わり、園内外において幼児の実態に即して、様々な環境構成を試みてきた。ここで、これらの保育実践をもう一度振り返り、幼児の遊びを發展させるためにはどのような環境が有効であったのかについて整理しようと考えた。園内環境というと、園庭、保育室、廊下、テラス、遊戯室などが挙げられるが、実践園では、保育の方針として天気の良い日はできるだけ園庭での外遊びを推奨していた。このことから、本研究は園庭での遊びに注目して検討していくこととした。また、テラスについて、境³⁾は「〈屋外との連続空間〉」としての機能があることを示し、「テラスでは屋外で活動する幼児や保育者、保護者の姿を把握することができ、コミュニケーションをとることも可能である。そのため、テラスと屋外の間では遊びの情報交換や共有といった《屋外活動とのつながり》をもった活動が見られた」としている。このことから、本研究ではテラスも園庭とのかかわりがあると考え、テラスでの活動も含めて検討していくこととした。

II 研究方法

1 研究対象

対象園は勤務したM幼稚園である。M幼稚園は、3歳児1クラス、4歳児2クラス、5歳児2クラスの計5クラスで構成されている。そのうち、過去6年間で

担任した6クラス分の幼児を研究対象とした。対象にする幼児の学年、人数についてはTable 1に示す。

対象園の構造は、平屋建てで各クラスに1室ずつ保育室が設けてある。また、各保育室には、テラスを有している。テラスは上靴で移動し、テラスを通じて各保育室を行き来できるようになっている。園庭については、中央が大きく開いており、ブランコや滑り台、ジャングルジムといった一般的な固定遊具が主に外側に配置されている。また、2.4mほどの高さのある築山や各学年の保育室前にそれぞれ土質の違う砂場が3カ所設置されている。その他にも、園庭には53種167個体の樹木が植えられており⁴⁾、調査園の一つの特徴といえる。なお、先にも述べたが、M幼稚園には二つの遊戯室も有しているが、本研究では、保育室や遊戯室等での遊びは除外することとする。対象園の配置についてはFigure 1に示す。

Table 1 研究対象となる幼児

年度	学年	人数(人)		
		男	女	計
2020	5歳児	14	13	27
2019	4歳児	9	11	20
2018	5歳児	14	15	29
2017	4歳児	13	13	26
2016	5歳児	16	13	29
2015	4歳児	17	14	31

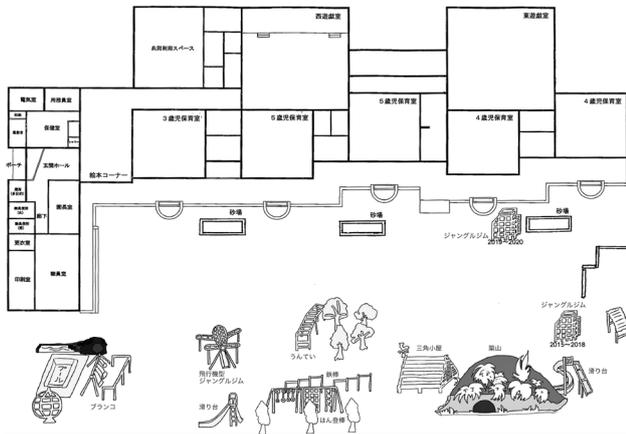


Figure 1 対象園の配置図

2 データ収集

2015年4月から2021年3月までの対象児の「好きな遊びの時間」における自由遊びの場面を当時の保育記録をもとに抽出した。対象園の1日の流れは、大きく二つに分かれる。昼食(弁当)をとり、13時15分に降園する通常保育日と昼食をとらずに11時15分に降園する午前保育日である。本研究の対象時間である「好き

な遊びの時間」は、通常保育日で8時50分～10時40分、午前保育日で8時50分～10時30分であり、大きな差はなく1時間40分～1時間50分の自由遊びの時間をとっており、この時間帯での遊びの記録を抽出することになる。対象園の自由遊びは、各学年の幼児が自由に園内外を行き来し、活動を行う(3歳児のみ入園後しばらくはある程度の制限がある)。そのため、対象となる幼児以外の幼児も保育記録には入っていることが予想される。保育記録では、そこまでは分からない記録も存在するが、本研究の趣旨からは問題ないものと判断をした。

幼児の遊びを抽出する際には、「その遊びが行われていた時期(季節)」「遊びが行われていたおおよその人数」「遊びに対する没頭の度合いを示す『夢中度⁵⁾』」「遊びが主に行われた場」を一緒に記録するとした。「夢中度」については、「『夢中度』の評定⁵⁾(以下Figure 2に示す)」を参考にして、どのくらい遊びに没頭していたのかを遊びの期間で最も盛り上がったときを対象に測定した。なお、学級単位や学年単位で取り組んだ栽培活動や食育等については夢中度の測定が難しいために今回は除外した。

1	特に低い	<ul style="list-style-type: none"> 子どもはほとんど何の活動もしていない。 ・何かに集中しているように見えない。 ・ボーとしていて、寝起きのような状態。 ・放心したような状態で、活気がない。 ・無目的な活動、行動が見られ、生産的な動きをしていない。 ・探究心や関心が見られない。 ・何かをしようとしないうし、心も動いていないように見える。
2	低い	<ul style="list-style-type: none"> 子どもはある程度活動しているが、たびたび中断してしまう。 ・少しは集中しているが、活動中に他の方を見たり、ぶらぶらしたり、ボーとしていたりしている。 ・簡単に気が散ってしまう。 ・行動が単純な結果しか生まれない。
3	中程度	<ul style="list-style-type: none"> 子どもはいつも忙しそうにしているが、何かに集中しているようには見えない。 ・決まり切った行動が多く、活動に表面的な注意しかはらっていない。 ・活動に没頭しておらず、活動が短時間で終わってしまう。 ・活動への意欲がそれほど高くなく、熱中することもなく、挑戦的でもない。 ・子どもは、その活動で得られる十分な経験を得られていない。 ・子どもは自分の能力を十分に発揮していない。 ・活動が子どもたちの想像力を刺激していない。

4	高い	明らかに子どもは活動に参加している様子が見える。しかし、常に精一杯取り組んでいるとは見えない。 ・子どもは絶えず活動に取り組んでいる。 ・活動中、真剣に取り組んでいるが、時たま、注意がそれることがある。 ・子どもは挑戦的に活動に取り組んでいて、活動へのモチベーションもある程度高い。 ・子どもの能力や想像力がある程度活動に反映している
5	特に高い	観察中、子どもは絶えず活動に取り組んでおり、完全に没頭している。 ・子どもは、活動中、中断することなく、焦点を定めて、集中している。 ・子どもは活動に対して高い意欲を持っており、活動に魅力を感じていて、辛抱強く取り組んでいる。 ・何か強い邪魔が入っても、気を散らすことがない。 ・子どもは注意深く、細部にも注意を払い、几帳面に活動している。 ・精神的な活動にも、実際の経験も高いレベルである。 ・子どもは絶えず全力を尽くしている。想像力も精神的能力も最大限に働かせている。 ・子どもは活動に夢中になることを楽しんでいる。

Figure2 「夢中度」の評定

3 分析方法

幼児の遊びを抽出した表をもとに園庭を示した図(以下「園庭MAP」)に表示した。その際、「遊びが行われていたおおよその人数」については、「1～5人」「6～10人」「10人以上」の3段階に分け、示すマークの大きさとで区別した。「遊びに対する没頭の度合いを示す『夢中度』」については、「夢中度1」の遊びがなかったので、「夢中度2」から「夢中度5」までの4段階を示すマークの色で区別した。また、鬼遊びなどの比較的動きの大きな遊びについては、その拠点となる場にマークするようにした。

できた図から「幼児の遊びが集中している場」に着目して、その場はどのような環境であったか、また、遊びの様子について代表的な事例を挙げながら、その特徴について検討していく。幼児が夢中になる遊びの環境にはどのような特徴があるのかについて分析した。

Ⅲ 結果

抽出した幼児の好きな遊びを年度ごとに一覧にまとめたのがTable 2～7である。好きな遊びの事例は189件になった。また、それをもとに作成した園庭MAPをFigure 3に示す。

Table2 幼児の好きな遊び(2020年度 5歳児)

※春(4、5月)はコロナウイルス感染症予防対策のため、臨時休園

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
1	2020	5	ままごと遊び	-	○	○		1～5	4		○
2	2020	5	カフェごっこ(泡遊び)	-	○	○	○	1～5	5	○	
3	2020	5	おうちごっこ	-	○			1～5	3	○	
4	2020	5	ケーキ屋さんごっこ	-	○			1～5	3	○	
5	2020	5	小麦粉粘土	-		○		1～5	3		○
6	2020	5	パーベキューごっこ	-	○	○		1～5	3	○	
7	2020	5	おばけのくにごっこ	-	○			6～10	4		○
8	2020	5	ハロウィンごっこ	-		○		10～	4	○	
9	2020	5	木工遊び(ものづくり)	-	○	○		1～5	5	○	
10	2020	5	木工遊び(グルーガン)	-	○			1～5	5		○
11	2020	5	家作り遊び	-	○	○	○	1～5	5	○	○
12	2020	5	プリンセスごっこ	-	○	○	○	6～10	5	○	○
13	2020	5	野球遊び	-		○	○	6～10	5	○	
14	2020	5	染め物遊び	-		○		1～5	4	○	○
15	2020	5	ダンス遊び	-		○	○	6～10	5	○	
16	2020	5	粘土山遊び	-	○	○	○	1～5	4	○	
17	2020	5	とい遊び	-	○	○	○	1～5	4	○	
18	2020	5	絵の具遊び	-	○	○		1～5	4	○	
19	2020	5	鬼遊び	-	○			6～10	5	○	
20	2020	5	鉄棒	-	○	○		1～5	3	○	
21	2020	5	バギー	-			○	1～5	3	○	
22	2020	5	ドッジボール	-	○			6～10	4	○	
23	2020	5	制作遊び	-	○	○	○	6～10	4		○
24	2020	5	虫捕り遊び、観察	-	○	○		6～10	5	○	○
25	2020	5	カブトムシ飼育	-	○			1～5	2	○	
26	2020	5	取材ごっこ	-	○			1～5	5	○	○
27	2020	5	リレー遊び	-	○	○		6～10	4	○	
28	2020	5	縄跳び	-	○	○	○	1～5	3	○	
29	2020	5	固定遊具遊び	-	○	○	○	6～10	2	○	
30	2020	5	サッカー遊び	-	○	○	○	6～10	4	○	
31	2020	5	雪遊び	-			○	10～	4	○	
32	2020	5	色水遊び	-	○			6～10	4	○	

Table3 幼児の好きな遊び(2019年度 4歳児)

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
33	2019	4	たい焼き屋さんごっこ	○	○			1～5	5	○	
34	2019	4	アイス屋さんごっこ		○			1～5	5	○	○
35	2019	4	ケーキ屋さんごっこ			○		1～5	5	○	○
36	2019	4	銀行ごっこ			○		1～5	4		○
37	2019	4	おもちゃ屋さんごっこ		○	○		1～5	5		○
38	2019	4	忍者修行ごっこ		○	○		1～5	5	○	
39	2019	4	忍者の武器作り		○	○		6～10	5	○	○
40	2019	4	ドッジボール			○	○	6～10	4	○	
41	2019	4	虫捕り遊び	○	○	○		1～5	5	○	
42	2019	4	標本作り			○		1～5	5		○
43	2019	4	博物館ごっこ				○	1～5	5		○
44	2019	4	化石取りごっこ				○	1～5	5	○	○
45	2019	4	色水遊び	○				6～10	4	○	
46	2019	4	砂場遊び	○	○			6～10	4	○	
47	2019	4	土団子作り	○	○	○		1～5	3	○	
48	2019	4	水遊び	○	○			6～10	5	○	
49	2019	4	とい遊び	○	○			6～10	5	○	
50	2019	4	パーベキューごっこ	○	○	○		1～5	5	○	

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
51	2019	4	固定遊具遊び	○	○			1~5	2	○	
52	2019	4	魔女ごっこ	○				1~5	3	○	
54	2019	4	ポテト屋さんごっこ	○				1~5	2	○	
55	2019	4	おうちごっこ		○	○		6~10	4	○	
56	2019	4	鬼遊び		○	○	○	6~10	3	○	
57	2019	4	柿取り		○			1~5	4	○	
58	2019	4	制作遊び	○	○	○	○	6~10	4		○
59	2019	4	プリンセスごっこ		○		○	1~5	4	○	
60	2019	4	警察ごっこ		○	○		1~5	3	○	
61	2019	4	お化け屋敷ごっこ		○	○		1~5	3	○	
62	2019	4	サッカー遊び			○		1~5	3	○	
63	2019	4	カリン研究			○	○	1~5	4	○	○
64	2019	4	縄跳び			○	○	1~5	4	○	
65	2019	4	ドングリ取り			○	○	1~5	3	○	
66	2019	4	雪遊び				○	6~10	4	○	

Table4 幼児の好きな遊び (2018年度 5歳児)

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
67	2018	5	固定遊具遊び	○	○			1~5	3	○	
68	2018	5	虫捕り遊び	○	○			1~5	4	○	
69	2018	5	虫の観察		○	○		1~5	5		○
70	2018	5	リレー遊び	○	○			6~10	4	○	
71	2018	5	おうちごっこ	○	○			1~5	4	○	
72	2018	5	縄跳び	○	○	○		1~5	3	○	
73	2018	5	サッカー遊び	○	○	○	○	10~	5	○	○
74	2018	5	相撲遊び	○				6~10	3	○	
75	2018	5	ダンス遊び	○	○	○	○	6~10	4	○	○
76	2018	5	USA			○	○	1~5	5	○	
77	2018	5	ままごと遊び	○				1~5	3	○	
78	2018	5	泡遊び	○	○	○	○	6~10	5	○	
79	2018	5	木工遊び	○	○		○	6~10	4	○	○
80	2018	5	魔法使いごっこ			○		1~5	3	○	
81	2018	5	ツリーハウス作り			○	○	6~10	5	○	
82	2018	5	水遊び		○			1~5	4	○	
83	2018	5	粘土山遊び	○	○	○		1~5	4	○	
84	2018	5	とい遊び	○	○			6~10	5	○	
85	2018	5	お店屋さんごっこ	○				6~10	4	○	
86	2018	5	絵の具遊び	○	○	○		1~5	4	○	
87	2018	5	鉄棒遊び		○	○		1~5	4	○	
88	2018	5	鬼遊び		○	○		6~10	3	○	
89	2018	5	海賊ごっこ		○	○		1~5	4		○
90	2018	5	ドッジボール		○			6~10	3	○	
91	2018	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○
92	2018	5	ザクロとり		○			1~5	4	○	
93	2018	5	ヒロインごっこ		○	○		6~10	5	○	○
94	2018	5	色水遊び	○	○			1~5	4	○	
95	2018	5	ジュース屋さんごっこ			○		1~5	4	○	
96	2018	5	虹作り			○		1~5	5	○	
97	2018	5	ストライダー	○	○			1~5	3	○	
98	2018	5	車整備ごっこ			○		1~5	5	○	○
99	2018	5	猫カフェごっこ			○	○	1~5	5	○	○
100	2018	5	かまくら作り			○		1~5	4	○	
101	2018	5	雪でアート			○		6~10	5	○	
102	2018	5	ティーボール			○		1~5	3	○	
103	2018	5	染め物遊び			○		1~5	4	○	○
104	2018	5	紙すき遊び			○		1~5	4	○	

Table5 幼児の好きな遊び (2017年度 4歳児)

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
105	2017	4	川作り遊び	○	○	○		6~10	5	○	
106	2017	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	
107	2017	4	山作り遊び	○	○			6~10	4	○	
108	2017	4	水遊び		○			6~10	5	○	
109	2017	4	池作り		○			1~5	5	○	
110	2017	4	チョコレート作り		○	○		1~5	4	○	
111	2017	4	とい遊び			○		1~5	4	○	
112	2017	4	虫捕り遊び	○	○	○		6~10	5	○	
113	2017	4	虫map作り		○	○		6~10	5		○
114	2017	4	鬼遊び	○	○	○	○	6~10	4	○	
115	2017	4	どろけい	○	○	○	○	6~10	4	○	
116	2017	4	氷鬼	○	○	○	○	6~10	4	○	
117	2017	4	色鬼			○		6~10	4	○	
118	2017	4	丸鬼、Siけん、鳥鬼				○	6~10	4	○	
119	2017	4	固定遊具遊び	○	○	○	○	1~5	3	○	
120	2017	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	5	○	
121	2017	4	レストランごっこ	○	○	○	○	1~5	4	○	
122	2017	4	相撲遊び	○	○	○	○	6~10	5	○	
123	2017	4	色水遊び	○	○			1~5	4	○	
124	2017	4	コーヒー牛乳屋さんごっこ	○				1~5	2	○	
125	2017	4	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○
126	2017	4	自然物バッグ作り			○		1~5	4		○
127	2017	4	ドッジボール	○	○	○	○	1~5	4	○	
128	2017	4	ドッチビー				○	6~10	3	○	
129	2017	4	ビワ取り			○		1~5	4	○	
130	2017	4	柿取り			○		1~5	5	○	
131	2017	4	キャンプごっこ			○	○	1~5	5	○	
132	2017	4	サッカー遊び			○	○	1~5	5	○	
133	2017	4	忍者修行			○	○	6~10	5	○	
134	2017	4	忍者屋敷作り			○	○	6~10	5	○	
135	2017	4	長縄跳び			○		1~5	3	○	
136	2017	4	だるまさんがころんだ				○	6~10	3	○	
137	2017	4	雪遊び				○	10~	5	○	

Table6 幼児の好きな遊び (2016年度 5歳児)

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
138	2016	5	サッカー遊び	○	○	○		10~	5	○	
139	2016	5	リレー遊び		○			10~	4	○	
140	2016	5	タグラグビー	○				1~5	3	○	
141	2016	5	粘土山遊び	○	○	○	○	6~10	5	○	
142	2016	5	とい遊び	○	○	○		6~10	5	○	
143	2016	5	固定遊具遊び	○				6~10	4	○	
144	2016	5	鉄棒	○	○			1~5	4	○	
145	2016	5	色水遊び	○				1~5	3	○	
146	2016	5	ドッジボール	○		○		1~5	3	○	
147	2016	5	鬼遊び	○				6~10	3	○	
148	2016	5	氷鬼			○	○	6~10	4	○	
149	2016	5	増え鬼			○		6~10	4	○	
150	2016	5	けいどろ				○	6~10	4	○	
151	2016	5	縄跳び	○				1~5	3	○	
152	2016	5	虫捕り遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	
153	2016	5	絵描き遊び	○	○	○		1~5	4	○	○
154	2016	5	キャラクターごっこ遊び	○			○	1~5	3	○	
155	2016	5	水遊び			○		6~10	4	○	
156	2016	5	創作遊具遊び			○		1~5	4	○	
157	2016	5	ままごと遊び	○	○	○		1~5	3	○	

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
158	2016	5	泡遊び	○	○			6~10	5	○	
159	2016	5	釘打ちコリント		○			1~5	4	○	
160	2016	5	電車ごっこ		○	○	○	1~5	5	○	○
161	2016	5	ティーボール			○		6~10	4	○	
162	2016	5	雪遊び				○	6~10	4	○	
163	2016	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
187	2015	4	リレー遊び				○	1~5	4	○	
188	2015	4	電車ごっこ		○	○		1~5	4	○	○
189	2015	4	雪遊び				○	6~10	4	○	

Table 7 幼児の好きな遊び (2015年度 4歳児)

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス
164	2015	4	虫捕り遊び	○	○			1~5	5	○	
165	2015	4	制作遊び	○	○	○	○	6~10	3		○
166	2015	4	砂場遊び	○	○	○	○	6~10	5	○	
167	2015	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	○
168	2015	4	固定遊具遊び	○	○	○	○	6~10	4	○	
169	2015	4	鬼遊び	○	○			6~10	4	○	
170	2015	4	氷鬼			○		6~10	4	○	
171	2015	4	色鬼			○		6~10	4	○	
172	2015	4	増え鬼			○		6~10	5	○	
173	2015	4	けいどろ			○		6~10	5	○	
174	2015	4	ハンターごっこ (逃走中)			○		6~10	5	○	
175	2015	4	たたかいごっこ	○	○			1~5	5		
176	2015	4	釣りごっこ		○			1~5	4	○	
177	2015	4	ダンス遊び	○	○	○	○	1~5	4		○
178	2015	4	秘密基地ごっこ		○			1~5	4	○	
179	2015	4	ビワ取り		○			1~5	4	○	
180	2015	4	的当て		○	○	○	1~5	4	○	
181	2015	4	木登り		○			1~5	3	○	
182	2015	4	色水遊び		○			1~5	4	○	
183	2015	4	水鉄砲		○			6~10	5	○	
184	2015	4	長縄跳び		○	○		1~5	4	○	
185	2015	4	忍者ごっこ		○			6~10	4	○	
186	2015	4	アイスクリーム屋さん		○	○	○	6~10	5		○

分析の結果、園庭MAPから「固定遊具（ブランコ、滑り台、ジャングルジム、鉄棒、三角小屋、砂場、築山、滑り台）」「園庭の中央」「テラス」に比較的多くの遊びが集中している傾向が見られた。また、「園庭の右隅」にも見られたが、この遊びは全て「虫捕り遊び」であり、拠点が存在しなかったときに形式的に置いた場であるので、今回は除外した。その他にも、調査園の特徴ともいえる場が遊びの發展をもたらしすことも考慮し、「その他」の項目として検討することとした。

以上のことから、この四つの場を中心に事例をもとに考察する。なお、事例に登場する幼児の名前は、本研究では幼児同士のかかわりには焦点を当てないこともあり、任意のアルファベットで表記した。

IV 考察

1 固定遊具

固定遊具での遊びは、多くの事例が抽出され、74事例あった。その遊びの内容について分析していくと固定遊具の使われ方で「遊具そのものでの遊び」「遊具

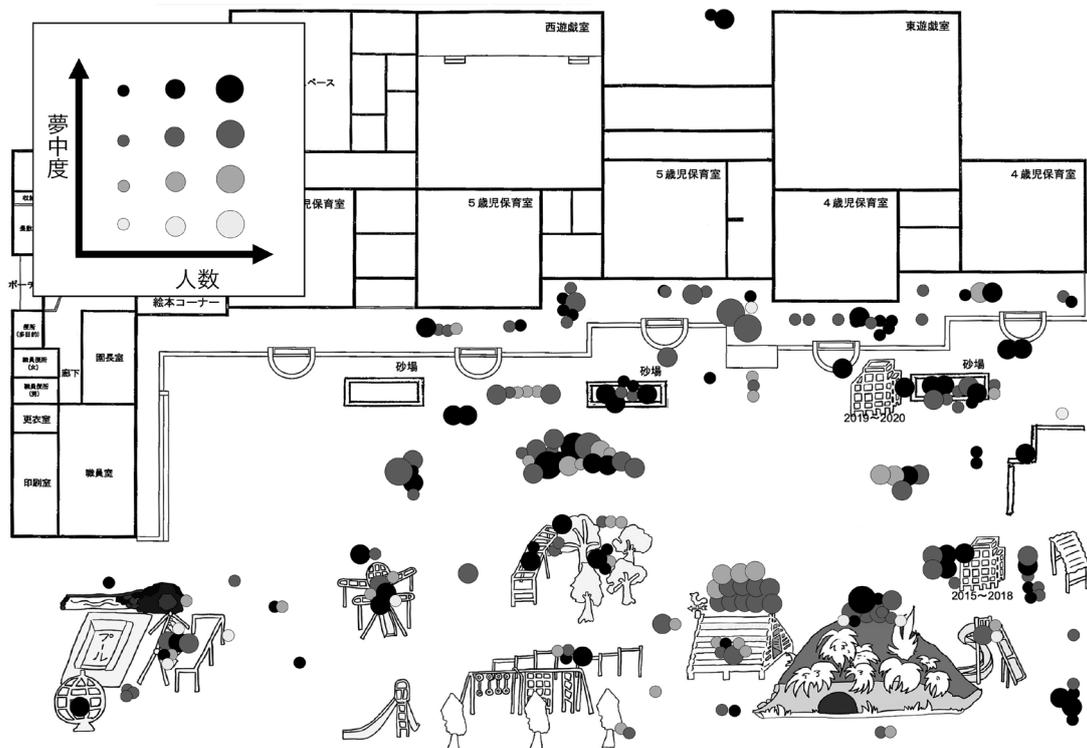


Figure3 園庭MAP

Table8 固定遊具での遊び

no.	年度	学年	遊び	季節		人数	夢中度	場所		遊びの内容
				春	夏			秋	冬	
67	2018	5	固定遊具遊び	○	○	1~5	3	○	固定遊具	遊具そのもの
119	2017	4	固定遊具遊び	○	○	1~5	3	○	固定遊具	遊具そのもの
143	2016	5	固定遊具遊び	○		6~10	4	○	固定遊具	遊具そのもの
168	2015	4	固定遊具遊び	○	○	6~10	4	○	固定遊具	遊具そのもの
29	2020	5	固定遊具遊び	-	○	6~10	2	○	固定遊具	遊具そのもの
51	2019	4	固定遊具遊び	○	○	1~5	2	○	固定遊具	遊具そのもの
20	2020	5	鉄棒	-	○	1~5	3	○	固定遊具	遊具そのもの
144	2016	5	鉄棒	○	○	1~5	4	○	固定遊具	遊具そのもの
87	2018	5	鉄棒	○	○	1~5	4	○	固定遊具	遊具そのもの
21	2020	5	バギー	-	○	1~5	3	○	固定遊具	遊具そのもの
155	2016	5	水遊び	○		6~10	4	○	固定遊具	滝 遊具そのもの
78	2018	5	泡遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	遊具の見立て
158	2016	5	泡遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	遊具の見立て
32	2020	5	色水遊び	-	○	6~10	4	○	固定遊具	遊具の見立て
61	2019	4	お化け屋敷ごっこ	○	○	1~5	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
85	2018	5	お店屋さんごっこ	○		6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
71	2018	5	おうちごっこ	○	○	1~5	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
154	2016	5	キャラクターごっこ遊び	○	○	1~5	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
131	2017	4	キャンプごっこ	○	○	1~5	5	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
98	2018	5	車整備ごっこ	○		1~5	5	○	固定遊具	遊具の見立て
49	2019	4	とい遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具の見立て
111	2017	4	とい遊び	○		1~5	4	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具の見立て
134	2017	4	忍者屋敷作り	○	○	6~10	5	○	固定遊具	遊具の見立て
8	2020	5	ハロウィンごっこ	-	○	10~	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具の見立て
117	2017	4	色鬼	○		6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
56	2019	4	鬼遊び	○	○	6~10	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
88	2018	5	鬼遊び	○	○	6~10	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
114	2017	4	鬼遊び	○	○	6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
147	2016	5	鬼遊び	○		6~10	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
169	2015	4	鬼遊び	○	○	6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
60	2019	4	警察ごっこ	○	○	1~5	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
150	2016	5	けいどろ	○		6~10	4	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具のシンボル化
173	2015	4	けいどろ	○		6~10	5	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具のシンボル化
116	2017	4	水鬼	○	○	6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
170	2015	4	水鬼	○		6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
136	2017	4	だるまさんがころんだ	○		6~10	3	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
115	2017	4	どろけい	○	○	6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
174	2015	4	ハンターごっこ(隠れ中)	○		6~10	5	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具のシンボル化
149	2016	5	増え鬼	○		6~10	4	○	固定遊具	ジャンダルム 遊具のシンボル化
172	2015	4	増え鬼	○		6~10	5	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
171	2015	4	色鬼	○		6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
148	2016	5	水鬼	○	○	6~10	4	○	固定遊具	三角小屋 遊具のシンボル化
105	2017	4	川作り遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	砂場
181	2015	4	木登り	○		1~5	3	○	固定遊具	砂場
166	2015	4	砂場遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	砂場
110	2017	4	チョコレート作り	○	○	1~5	4	○	固定遊具	砂場
47	2019	4	土団子作り	○	○	1~5	3	○	固定遊具	砂場
84	2018	5	とい遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	砂場
16	2020	5	粘土山遊び	-	○	1~5	4	○	固定遊具	砂場
141	2016	5	粘土山遊び	○	○	6~10	5	○	固定遊具	砂場
106	2017	4	ままごと遊び	○	○	1~5	4	○	固定遊具	砂場
108	2017	4	水遊び	○		6~10	5	○	固定遊具	砂場
107	2017	4	山作り遊び	○	○	6~10	4	○	固定遊具	砂場
82	2018	5	水遊び	○		1~5	4	○	固定遊具	砂場
109	2017	4	池作り	○		1~5	5	○	固定遊具	砂場
46	2019	4	砂場遊び	○	○	6~10	4	○	固定遊具	砂場

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		遊びの内容	
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス		
17	2020	5	とい遊び	-	○	○	○	1~5	4	○	固定遊具	砂場	
142	2016	5	とい遊び	○	○	○		6~10	5	○	固定遊具	砂場・築山	
83	2018	5	粘土山遊び	○	○	○		1~5	4	○	固定遊具	砂場	
167	2015	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	○	固定遊具	砂場
153	2016	5	絵描き遊び	○	○	○		1~5	4	○	○	固定遊具	築山
185	2015	4	忍者ごっこ		○			6~10	4	○	固定遊具	築山	
133	2017	4	忍者修行		○	○		6~10	5	○	固定遊具	築山	
38	2019	4	忍者修行ごっこ	○	○			1~5	5	○	固定遊具	築山	
50	2019	4	バーベキューごっこ	○	○	○		1~5	5	○	固定遊具	築山	
120	2017	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	5	○	固定遊具	築山	
66	2019	4	雪遊び		○			6~10	4	○	固定遊具	築山	
137	2017	4	雪遊び		○			10~	5	○	固定遊具	築山	
189	2015	4	雪遊び		○			6~10	4	○	固定遊具	築山	
162	2016	5	雪遊び		○			6~10	4	○	固定遊具	築山	
156	2016	5	創作遊具遊び	○				1~5	4	○	固定遊具	築山	
6	2020	5	バーベキューごっこ	-	○	○		1~5	3	○	固定遊具	築山	
124	2017	4	コーヒートレーシング	○				1~5	2	○	固定遊具	築山	
178	2015	4	秘密基地ごっこ	○				1~5	4	○	固定遊具	トンネル	

を何かに見立てての遊び」「遊具をシンボルとして活用した遊び」の三つに分類されることが分かった。また、「砂場」と「築山」は、他の固定遊具とは違う特徴をもつことから、別に考察を行うこととした。分析したものをTable 8 に示す。

(1) 遊具そのものでの遊び

遊具そのもので遊ぶ事例は11事例あった。固定遊具（特にブランコや滑り台）は、カイヨワの遊びの分類でいうところのイリンクス（眩暈の追求を基礎とする遊び）⁶⁾であり、それ自体を楽しむ幼児も多い。一方で、夢中度の低いといった傾向もあり、遊びが見つからなかったり、遊び疲れたときに落ち着いたりするための場所としての意味合いがあることもうかがえた。

〔事例1 No.51〕

ブランコで一人遊んでいるA児。教師が「今日はブランコで遊んでいるの?」と尋ねるとA児は「なんか、つままない」と言って元気がなさそうにブランコに揺られながら、園庭で遊んでいる友達の様子を眺めていた。教師は「何かやりたいことはあるの?」と聞くと「うーん、わかんない」とA児。「一緒に散歩しながら、遊びを探してみようか」と言ってA児と一緒に園庭を散歩することにした。

(2019年5月 4歳児さくら組保育記録)

また、固定遊具（鉄棒）に「がんばりカード」といった目標を視覚化できる環境を教師が整えることで、幼児がより一層、その遊びに夢中になって取り組むことができた。

〔事例2 No.144〕

鉄棒の前についたてを置いて、鉄棒の技の絵が描かれているカードを並べて掲示した。すると、そこへ来た4名の幼児たちが興味を示し、「わたし、これできるよ」「わたしもできるよ」「先生、見てて」などと言って取り組んでいる様子が見られた。今後は、個人で達成できたことが分かるようなカードも作成する予定である。

(2016年9月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

鉄棒で遊んでいる子どもたちに「てつぼうがんばりカード」を渡した。できる技にシールを貼っていった。できない技をできるようにしようと熱心に取り組む姿が見られ、意欲が高まった。また、幼児同士で教え合う様子も見られるようになった。

(2016年10月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

(2) 遊具を何かに見立てた遊び

様々なイメージをもって遊ぶごっこ遊びの展開で、遊具を何かに見立てて、そこを拠点として遊ぶ事例が13事例あった。内容は「三角小屋(木造の小屋)を生かしたままごと遊びやお化け屋敷ごっこ」「固定遊具をブルーシートや日除けシート、簾などで覆い、創造した忍者屋敷やカフェスペース、ジュース屋」などであった。特に後者は幼児らが自ら工夫をしながら思い思いに作り上げるスペースであり、遊びに対する思い入れが強い場になる様子がうかがえた。また、それに伴って夢中度がとても高い遊びになった。

〔事例3 No.134〕

(やってきた4名の幼児)…今日は違うところに忍者屋敷を作りたいという思いで移動を始めた。「ここで作らない?」とB児。他のみんなも賛成し、飛行機ジャングル(飛行機型のジャングルジム)で作ることになった。みんなで協力しながらシートをかぶせたり、S字フックで端を押さえたりしながらなんとか完成。(教師の援助もかなり入った)「ここから修行に行こう!」と遊具の後ろについている滑り台から勢いよく降りて修行に向かう。今日は、みんなで園庭を大きく4周走った。

(2017年11月 4歳児さくら組保育記録)

〔事例4 No.8〕

みんなで相談し、いよいよ動き出すハロウィンパーティーの準備。「三角小屋をホーンテッドハウスにしたい!」というC児の願いから、みんなで話し合い、イメージを共有しながらこれまでおばけ作りや看板作り、驚かせる仕掛け作りを行った。面白かったのはD児のいつもやっているケーキ屋ごっこのゼリー(ホウ砂飽和水溶液とPVAを混ぜたもの)をビニールに入れてぶら下げるというアイデアであった。また、魔女や猫などの仮装をしながら準備をしている幼児もおり、本当に楽しんでいると感じた。ハウスが完成したら年中さんや年少さんと呼んで楽しんでもらう予定である。

(2020年10月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

(3) 遊具をシンボルとして活用した遊び

様々な鬼遊びをして楽しむ中で、幼児が鬼遊びを一

緒にする友達を探したり、誘ったりする場面がよく見られるが、その際に固定遊具を鬼遊びが始まるまでの待ち合わせ場所にしたり、鬼遊びでつかまった幼児の待機場所にしたりする事例が18事例あった。固定遊具そのものは使っていないでも鬼遊びの拠点として存在していることが分かった。一度、その場所が拠点になると幼児は「あの場所に行けば鬼遊びができる」という思いから、毎日、たくさんの幼児が集まるようになり、鬼遊びはいろいろとルールを変化しながら、発展していく様子が見られた。

〔事例5 No.173〕

朝、元気に登園してきたE児。保育室に入るなり、「今日も『けいどろ』するからいつもの場所に集合!」と大きく声を上げた。返事をしたりしなかったりと反応は様々であったが、気付くとみんないつもの三角小屋の前に集まっているではないか。前日、E児は「時間を決めてやりたい!」と言っていたが、それを覚えていたようで、「先生、どうやって時間測ればいい?先生の時計貸して」と言ってきた。…以下、省略

(2016年2月 4歳児すみれ組保育記録)

(4) 砂場

調査園には、それぞれ粘性の違う砂や土を入れている砂場が三つあり、それぞれの学年の保育室前に設定している。幼児はどこかの砂場を使っても構わないが、概ね自分たちの学年の前にある砂場で遊ぶことが多い。砂場は他の固定遊具とは違いスキルをあまり必要とはせず、感触を楽しんだり、イメージ豊かに遊んだりすることができる。そういった事例が18事例あった。粘性の違いにより、遊びの内容も大きく変わり、5歳児保育室前の砂場では、粘土質の土であるために穴を掘ったり、大きな山を作ったりとよりダイナミックな遊びになった。また、夏の気温が高い日や雨が降った翌日などは、水を使って川作りをしたり、といを使った構成遊びをしたりと遊びのバリエーションも増えた。

〔事例6 No.141〕

少しずつ發展してきた粘土山での遊びである。気温の高い日も続いたことで、水を使った遊びも増えてきた。さらにダイナミックに遊んでほしいという思いから教師がはだしになって遊ぶようにした。すると、子どもたちも次々と「僕も脱ぐ!」「先生、脱いでいい?」などと口々にはだしになり出した。また、といやといの接続部分を増やした。そうすることで、難しい構成遊びにも挑戦するようになってきた。

(2016年6月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

〔事例7 No.46〕

6月に環境を変え、ジャングルジムを砂場の隣に移動したが、ここに来て遊びのつながりが見られるようになってきた。とい遊びでは、といを少しずつ自分の思い通りに組み立てられるようになり、構成遊びの要素が強くなってきた。また、水を流して遊ぶときも、見る役と流す役を交代したり、流す順番を守ったりして楽しむ姿が見られた。水の流れた砂場はというと、この日は板を置いてたまった水に滑り降りる遊びをしていた。廃タイヤで山を作って斜面を確保し、滑り台を作るといった工夫をしていた。この時期ならではのダイナミックな遊びにつながりそうである。

(2019年7月 4歳児さくら組保育記録)

(5) 築山

築山での遊びは14事例あった。まず、築山の高低差を生かした遊びが多く見られた。内容は「といを使って水を流す遊び」「斜面にプラスチック段ボールを敷いて滑る遊び」「雪の日のそり遊び」などである。いずれも遊びに必要な高低差を簡単に得ることができるのが特徴であると言える。

〔事例8 No.142〕

築山でのとい遊びはいつもとは違い、とても楽しそうであった。その中で、いろいろなことに気付く子どもたち。F児は「いつもより水が流れるのが速いね」G児は「といの間から水がこぼれちゃうよ…どうしよう…」傾斜がいつもよりついている分、流れが早くといがうまく噛み合わないといが漏れてしまう。どうすれば最後まで流れるかを一生懸命考えた。友達同士でたくさんの言葉を交わしながら取り組んでいた。結局、答えが出なかったが、明日もやりたいと意欲をのぞかせていた。

(2016年7月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

また、築山の頂はとても見晴らしがよい。それを幼児たちはとても気持ちよく感じているようで山の頂上に見立てて「山の上パーベキューごっこ」や築山に自由画帳とクレヨンを持って行って「お絵かきごっこ」、修行の山に見立てて「忍者修行ごっこ」をして楽しむ姿が見られた。高い場があるからこそこの遊びであると言える。

〔事例9 No.50〕

夏休み中に築山の整備を行い、これまでのパーベキューごっこの様子を踏まえて、築山の頂の部分を広げた。夏休み明け、H児が登園するなり、「パーベキューごっこをやろう！」と意気揚々と築山にかけていった。築山に上ってびっくりした様子で「広がってる！」と大喜び。数名の幼児も参加し、いつもと同じように網と石を持ってきて焼く準備を始めた。「いい眺めだね！今度はテントを立てようね」とH児。安定した遊びになった。

(2019年8月 4歳児さくら組保育記録)

つは4歳児保育室前方の園庭の中央となる場であり、もう一つは、5歳児保育室前方の園庭の中央となる場である。それぞれの学年には見えない領域があることを幼児自身も何となく感じているようである。4歳児は4歳児前の園庭の中央で、5歳児も同様に5歳児前の園庭の中央で多く集まる傾向がうかがえた。園庭の中央での遊びは、4歳児5歳児ともに体を大きく動かす遊びが多かった。4歳児は「サッカー遊び」「ドッジボール」「鬼遊び」など計8事例、5歳児は「サッカー遊び」「ティーボール」「リレー遊び」「ドッジボール」など計15事例あった。いずれも場としてはオープンスペースであり、のびのびと体を動かして遊びを楽しむ様子が見られた。分析したものをTable 9に示す。

Table 9 園庭の中央での遊び

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		場所の詳細
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス	
40	2019	4	ドッジボール		○	○		6~10	4	○		園庭中央
62	2019	4	サッカー遊び			○		1~5	3	○		園庭中央
118	2017	4	丸鬼、Siけん、鳥鬼				○	6~10	4	○		園庭中央
122	2017	4	相撲遊び	○	○	○	○	6~10	5	○		園庭中央
127	2017	4	ドッジボール	○	○	○	○	1~5	4	○		園庭中央
128	2017	4	ドッチビー				○	6~10	3	○		園庭中央
132	2017	4	サッカー遊び			○	○	1~5	5	○		園庭中央
187	2015	4	リレー遊び			○	○	1~5	4	○		園庭中央
13	2020	5	野球遊び	-		○	○	6~10	5	○		園庭中央
19	2020	5	鬼遊び	-	○			6~10	5	○		園庭中央
22	2020	5	ドッジボール	-	○			6~10	4	○		園庭中央
27	2020	5	リレー遊び	-	○	○		6~10	4	○		園庭中央
30	2020	5	サッカー遊び	-	○	○	○	6~10	4	○		園庭中央
70	2018	5	リレー遊び	○	○			6~10	4	○		園庭中央
73	2018	5	サッカー遊び	○	○	○	○	10~	5	○	○	園庭中央
74	2018	5	相撲遊び	○				6~10	3	○		園庭中央
90	2018	5	ドッジボール			○		6~10	3	○		園庭中央
102	2018	5	ティーボール				○	1~5	3	○		園庭中央
138	2016	5	サッカー遊び	○	○	○		10~	5	○		園庭中央
139	2016	5	リレー遊び	○	○			10~	4	○		園庭中央
140	2016	5	タグラグビー	○				1~5	3	○		園庭中央
146	2016	5	ドッジボール	○		○		1~5	3	○		園庭中央
161	2016	5	ティーボール			○		6~10	4	○		園庭中央

〔事例10 No.118〕

これまで盛り上がり欠けていた鬼遊びにてこ入れをしたいと考え、保育室前の広い空間を活用して、教師が丸鬼を提案した。とても反応がよく、みんな楽しんで遊んでいた。次第に、「もっと難しくしたい！」とI児。丸の数を増やしたり、丸の大きさを小さくしたりと様々なアイデアが幼児たちの中から出てきた。安定してきたら、鳥鬼やSケンなどルールの複雑な鬼遊びも提案していきたい。

(2018年2月 4歳児さくら組保育記録)

2 園庭の中央

園庭の中央といっても場は二つに分かれている。一

〔事例11 No.73〕

みんなで相談して一度は決めたサッカーの公式試合開幕戦であったが、雨で延期になった。そして今日はみんなで再び相談して決めた開幕戦の日であった。今日も少し雨が降っていた。しかし、幼児たちはもう待ちきれない様子であった。J児が「先生！サッカーは雨が降ってもやるんだよね！」と熱い眼差しで教師を見る。雨の様子から大丈夫と判断し、雨天決行！みんな元気よく園庭中央にある特設グラウンドにとび出し、公式試合開幕戦が始まった。みんなで力を合わせてユニフォームを作り、応援旗を作り、チームの歌を考えたこともあり、チームの団結は強く、元気に走りまわる姿を見てとてもたくましく思った。

(2018年10月 5歳児たんばほ組保育記録)

また、園庭の中央で行う遊びは、園庭全体の遊びの雰囲気作りにも一役買っており、他の遊びとのつながりや異学年交流のきっかけにもなり得ることがうかがえた。

〔事例12 No.73〕

男児が中心となって行っているサッカー遊び。そこに、3人の幼児が応援をしたいとやってきた。自らビールケースで応援席を作り、そこに座って応援を始めた。K児が「ケーキを食べながら応援したいから、あそこで買ってくるね」とケーキ屋さんごっこ（泡遊び）をしているところに行った。続いて二人の幼児らも買いに行き、ケーキやジュースを買って応援席に帰ってきた。それを見ていたのが、ケーキ屋さんをしている幼児たち。気付くとケーキ屋さんをしていた一人の幼児がお盆にケーキを乗せて「ケーキはいかがですか？」と移動販売にやってきた。遊びと遊びがつながった瞬間であった。

(2018年6月 5歳児たんばほ組保育記録)

3 テラス

テラスでの遊びは42事例あった。様々な用途で使われているテラスであるが、その遊びの展開から「テラスを一つの環境とする遊び」「園庭で遊ぶ幼児とかかわりながらの遊び」「園庭の遊びとつなげる遊び」の三つに分類されることが分かった。分析したものをTable10に示す。

Table10 テラスでの遊び

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		遊びの内容
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス	
11	2020	5	家作り遊び	-	○	○	○	1~5	5	○	○	一つの環境
153	2016	5	絵描き遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	○	一つの環境
7	2020	5	おばけのくにごっこ	-	○			6~10	4		○	一つの環境
89	2018	5	海賊ごっこ		○	○		1~5	4		○	一つの環境
44	2019	4	化石取りごっこ			○		1~5	5	○	○	一つの環境
104	2018	5	紙すき遊び			○		1~5	4		○	一つの環境
43	2019	4	博物館ごっこ			○		1~5	5		○	一つの環境
42	2019	4	標本作り		○			1~5	5		○	一つの環境
93	2018	5	ヒロインごっこ		○	○		6~10	5	○	○	一つの環境
12	2020	5	プリンセスごっこ	-	○	○	○	6~10	5	○	○	一つの環境
1	2020	5	ままごと遊び	-	○	○		1~5	4		○	一つの環境
167	2015	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	○	一つの環境
79	2018	5	木工遊び	○	○		○	6~10	4	○	○	一つの環境

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		遊びの内容
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス	
10	2020	5	木工遊び(グルーガン)	-	○			1~5	5		○	一つの環境
5	2020	5	小麦粉粘土	-	○			1~5	3		○	一つの環境
186	2015	4	アイスクリーム屋さん			○	○	6~10	5		○	園庭とのかかわり
34	2019	4	アイス屋さんごっこ			○		1~5	5	○	○	園庭とのかかわり
37	2019	4	おもちゃ屋さんごっこ			○	○	1~5	5		○	園庭とのかかわり
36	2019	4	銀行ごっこ			○		1~5	4		○	園庭とのかかわり
35	2019	4	ケーキ屋さんごっこ				○	1~5	5	○	○	園庭とのかかわり
26	2020	5	取材ごっこ	-	○			1~5	5	○	○	園庭とのかかわり
75	2018	5	ダンス遊び	○	○	○	○	6~10	4	○	○	園庭とのかかわり
177	2015	4	ダンス遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	園庭とのかかわり
63	2019	4	カリン研究			○	○	1~5	4	○	○	園庭へのつながり
98	2018	5	車整備ごっこ				○	1~5	5	○	○	園庭へのつながり
73	2018	5	サッカー遊び	○	○	○		10~	5	○	○	園庭へのつながり
126	2017	4	自然物バッグ作り			○		1~5	4		○	園庭へのつながり
23	2020	5	制作遊び	-	○	○	○	6~10	4		○	園庭へのつながり
58	2019	4	制作遊び	○	○	○	○	6~10	4		○	園庭へのつながり
91	2018	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	園庭へのつながり
125	2017	4	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	園庭へのつながり
163	2016	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	園庭へのつながり
165	2015	4	制作遊び	○	○	○	○	6~10	3		○	園庭へのつながり
14	2020	5	染め物遊び	-		○		1~5	4	○	○	園庭へのつながり
103	2018	5	染め物遊び				○	1~5	4		○	園庭へのつながり
160	2016	5	電車ごっこ		○	○	○	1~5	5	○	○	園庭へのつながり
188	2015	4	電車ごっこ		○	○	○	1~5	4	○	○	園庭へのつながり
39	2019	4	忍者の武器作り		○	○		6~10	5	○	○	園庭へのつながり
99	2018	5	猫カフェごっこ			○	○	1~5	5	○	○	園庭へのつながり
113	2017	4	虫map作り			○	○	6~10	5		○	園庭へのつながり
24	2020	5	虫捕り遊び、観察	-	○	○		6~10	5	○	○	園庭へのつながり
69	2018	5	虫の観察			○	○	1~5	5		○	園庭へのつながり

(1) テラスを一つの環境とする遊び

テラスを独立した環境として遊ぶ事例が15事例あった。内容は「ままごと遊び」「木工遊び」「ごっこ遊び」「小麦粉粘土遊び」などであるが、半屋外の雰囲気を生かした「ままごと遊び」以外は、室内でその遊びを構成するよりも半屋外の方が、その後の始末がしやすいといった教師の都合で設定されているケースが多い。また、境³⁾も述べているように、「雨や行事などで本来使えるはずの遊び場が使用できなくなる」といった理由から《代替的遊び場》としてテラスが活用⁴⁾されている事例も多い。

〔事例13 No.10〕

いつもの木工遊びをさらに繊細に取り組みたいと準備をした木の端材での木工遊びであるが、細かいものを作る時には、釘や木ねじでとめるのは難しい作業である。そこで、グルーガンを導入し、細かい作業もできるようにするとともに、普段の制作遊びの延長のイメージで環境を構成した。すると、小さな家を作る幼児が出てきた。はじめはグルーガンの使い方に戸惑いを見せていたり、熱くなるのを怖がったりしていたが、次第に慣れてきたようで、「簡単にくっついて楽しい！」と喜んで取り組む姿が見られた。

(2020年9月 5歳児たんばほ組保育記録)

(2) 園庭で遊ぶ幼児とかかわりながらの遊び

テラスでの遊びが園庭で遊ぶ幼児とかかわって遊ぶ

事例が8事例あった。その事例のほとんどは「お店屋さんごっこ」である。お店屋さんごっことして開店する際に、最も盛り上がるのは、お客さんの存在である。いろんな人たちが買いに来てくれて、お店屋さんごっこが遊びとして成立するといった側面もある。そこで、教師が意図的に制作遊びにも取り組みやすく、外部とのかかわりも多くなるであろうテラスに構成することで、遊びの発展が期待できる。

〔事例14 No.35〕
 季節の自然物を使って制作遊びをしたり、作ったものを使ってごっこ遊びをしたりして楽しんでいた幼児たち。ドングリや松ぼっくりを使って上手にケーキを作れるようになった。するとL児が「ケーキ屋さんを開いてみんなに買いに来てもらおうよ」と提案し、周りの友達もそれに合意した。すると、すぐに相談が始まり、相談しながらエプロンや看板を作っていた。完成したところで、いよいよケーキ屋さんがオープン。幼児たちの作ったケーキは大評判でたくさんのお客さんが買いに来てくれた。うめ組さん（3歳児）も買いに来てくれたのはとてもうれしそうであった。たくさんのお客さんとのやりとりから達成感や充実感を得ることができた。
 （2019年10月 4歳児さくら組保育記録）

(3) 園庭の遊びとつながる遊び

園庭での遊びの延長でテラスで活動したり、テラスの遊びが園庭での遊びにつながったりする事例が19事例あった。園庭の遊びにつながる遊びはそのほとんどが制作系の遊びである。制作遊びで作ったものを使って園庭で遊んだり、園庭の遊びで必要になったものをテラスの制作コーナーで作ったりする。保育室にも制作コーナーは設けているものの、園庭の遊びの雰囲気を感じることができたり、気軽に制作コーナーに行ったりできるのも、テラスという半屋外のよさであると言える。

〔事例15 No.58 (No.50とのつながり)〕
 この日もM児を中心に数名の幼児が「山の上バーベキューごっこ」を楽しんでいた。いつものように石をかまどに見立てて、網を置く。とそこで、M児が「火をつけなくちゃいけないけど、ライター忘れちゃった！」様子を見ていた教師はこれまで火をつけるという手続きがなかったので驚いた。すると間髪入れずにM児が「お部屋に戻ってチャッカマン作ってくるね」と言って足早にその場を立ち去り、保育室の方に向かった。おもしろい発想だと思い、教師も一緒についていった。テラスの制作コーナーで紙を絞って、くるっと持ち手を作りセロテープで貼る。手際よく作る様子に手先の器用さがうかがえた。作り終わるとすぐに築山に戻る。他の友達ももうすでに肉に見立てた葉を焼いていたが、M児は「まだ、火がついてないよ！今このチャッカマンで火をつけるから」と言ってかまどに火をつけた。M児の経験もさることながら、遊びの発想やイメージはとてもよいと感じた遊びであった。
 （2019年9月 4歳児さくら組保育記録）

4 その他

最後に、調査園の特徴ともいえる園庭の樹木による遊びの発展について検討をする。園庭にある樹木は溝田・宍戸・片平⁴⁾によると、53種167個体の樹木が確認されている。今回の事例の中で、園庭の樹木にかかわる遊びの事例は52事例あった。遊びの内容や環境から樹木の葉や実を取ったり使ったりする「樹木と直接的にかかわる遊び」とそこに樹木があることで様々な影響を及ぼしたり、環境を作り出したりする「樹木と間接的にかかわる遊び」に分類できることが分かった。分析したものをTable11に示す。

Table11 樹木とかかわる遊び

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		遊びの内容
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス	
57	2019	4	柿取り	○				1~5	4	○		直接的
130	2017	4	柿取り		○			1~5	5	○		直接的
63	2019	4	カリン研究		○	○		1~5	4	○	○	直接的
92	2018	5	ザクロとり	○				1~5	4	○		直接的
95	2018	5	ジュース屋さんごっこ			○		1~5	4	○		直接的
91	2018	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	直接的
125	2017	4	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	直接的
163	2016	5	制作遊び	○	○	○	○	1~5	4		○	直接的
165	2015	4	制作遊び	○	○	○	○	6~10	3		○	直接的
65	2019	4	ドングリ取り		○	○		1~5	3	○		直接的
6	2020	5	バーベキューごっこ	-	○	○		1~5	3	○		直接的
50	2019	4	バーベキューごっこ	○	○	○		1~5	5	○		直接的
129	2017	4	ピワ取り		○			1~5	4	○		直接的
179	2015	4	ピワ取り		○			1~5	4	○		直接的
54	2019	4	ポテト屋さんごっこ	○				1~5	2	○		直接的
106	2017	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○		直接的
77	2018	5	ままごと遊び	○				1~5	3	○		直接的
120	2017	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	5	○		直接的
157	2016	5	ままごと遊び	○	○	○		1~5	3	○		直接的
167	2015	4	ままごと遊び	○	○	○	○	1~5	4	○	○	直接的
78	2018	5	泡遊び	○	○	○	○	6~10	5	○		直接的
158	2016	5	泡遊び	○	○			6~10	5	○		直接的
45	2019	4	色水遊び	○				6~10	4	○		直接的
94	2018	5	色水遊び	○	○			1~5	4	○		直接的
123	2017	4	色水遊び	○	○			1~5	4	○		直接的
145	2016	5	色水遊び	○				1~5	3	○		直接的
55	2019	4	おうちごっこ		○	○		6~10	4	○		直接的
2	2020	5	カフェごっこ(泡遊び)	-	○	○	○	1~5	5	○		直接的
181	2015	4	木登り		○			1~5	3	○		直接的
4	2020	5	ケーキ屋さんごっこ	-	○			1~5	3	○		直接的
126	2017	4	自然物バッグ作り		○			1~5	4		○	直接的
14	2020	5	染め物遊び	-	○			1~5	4	○	○	直接的
103	2018	5	染め物遊び			○		1~5	4		○	直接的
39	2019	4	忍者の武器作り		○	○		6~10	5	○	○	直接的
11	2020	5	家作り遊び	-	○	○	○	1~5	5	○	○	間接的
32	2020	5	色水遊び	-	○			6~10	4	○		間接的
3	2020	5	おうちごっこ	-	○			1~5	3	○		間接的
71	2018	5	おうちごっこ	○	○			1~5	4	○		間接的
26	2020	5	取材ごっこ	-	○			1~5	5	○	○	間接的
81	2018	5	ツリーハウス作り		○	○		6~10	5	○		間接的
43	2019	4	博物館ごっこ		○			1~5	5		○	間接的

no.	年度	学年	遊び	季節				人数	夢中度	場所		遊びの内容
				春	夏	秋	冬			園庭	テラス	
42	2019	4	標本作り		○			1~5	5		○	間接的
113	2017	4	虫map作り		○	○		6~10	5		○	間接的
24	2020	5	虫捕り遊び、観察	-	○	○		6~10	5	○	○	間接的
41	2019	4	虫捕り遊び		○	○	○	1~5	5		○	間接的
112	2017	4	虫捕り遊び		○	○	○	6~10	5		○	間接的
152	2016	5	虫捕り遊び		○	○	○	1~5	4		○	間接的
164	2015	4	虫捕り遊び		○	○		1~5	5		○	間接的
68	2018	5	虫捕り遊び		○	○		1~5	4		○	間接的
69	2018	5	虫の観察		○	○		1~5	5		○	間接的
79	2018	5	木工遊び		○	○	○	6~10	4	○	○	間接的
9	2020	5	木工遊び(ものづくり)	-	○	○		1~5	5		○	間接的

(1) 樹木と直接的にかかわる遊び

樹木の葉や実を取ってままと遊びの材料として利用したり、葉や実について調べたりする事例があった。また、時には取った実を食べたりする事例もあった。食利用できる実については園庭の各所にアケギミ、ウメ、カキノキ、カシス、カラタチ、カリン、ザクロ、ナツグミ、ビワ、ユズ、ラズベリーといった果樹が植栽されている。⁷⁾ たくさんの種類の樹木があるからこそその活動であると言える。

〔事例16 No.14〕

昨年度、紙を染める経験をしている幼児たち。今年度は、布を染める体験に挑戦した。まずは園庭にあるビワの葉で染めてきた。園庭からビワの葉をとってきて、それを細かくちぎる。鍋に入れてぐつぐつ煮る。N児は「きれいな緑色になるといいね」と話していた。いざ、煮詰めていくと段々と色が出てきた。その色はなんとオレンジ色。「あれ？ オレンジ色？ ビワの実と同じ色だ！」染め物遊びを通して、園庭にある植物をじっくりと観察することができた。また、染め物をしながら、他の植物ではできないかを考えていた。「次の日は、ふよふよの花でやってみよう」と話していた。…以下、省略

(2020年10月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

(2) 樹木と間接的にかかわる遊び

直接的に樹木を利用しないものの、そこに樹木があることで様々な影響を及ぼしたり、環境を作り出したる遊びの事例が18事例あった。代表的なものの一つは、樹木が作り出す日陰による安定した環境である。樹木による日陰ができる場をFigure 4に示す。Aの場はサンゴジュ、コナラ、アスナロが育っており、囲まれた空間に日陰ができる。また、Bの場はイロハモミジ、イチョウ、クロマツが大きく育っており、ここにも囲まれた空間に大きな日陰ができている。自然にできた日陰は適当な光量と気温になり、幼児らにとってこの日陰は安定した環境をもたらす。Figure 3とFigure 4を合わせると、日陰にできた場に多く集まっていることが分かる。遊びの内容は、ままと遊びや木工遊びであり、それぞれ遊びの拠点として、夢中度

の高い遊びが展開されていた。

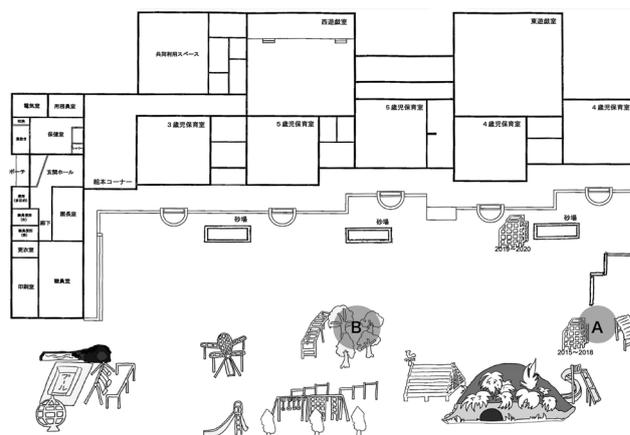


Figure4 園庭の日陰ができる場

〔事例17 No.81〕

いよいよツリーハウス作りのスタート。先日、お父さんたちに作ってもらった土台に板を並べてみる。これも協力が必要。「そっちもって」「オッケー」並べた後は、長さを考える。これは、少し教師もお手伝い。長いところに線を引く。再度、板を下ろしたら今度はのこぎりで切る。切った板を土台にのせ、釘を打ち込むといった作業の繰り返し。ただ、子どもたちの意欲がとても高い。ツリーハウスができるのが今からとても楽しみだ。

(2018年10月 5歳児たんぽぽ組保育記録)

もう一つは、多くの樹木も含めてたくさんの草木が群生していることで、チョウやバッタなどの多くの昆虫が園庭には生息している。その昆虫を探して遊ぶ「虫捕り遊び」が毎年、盛んに行われている。また、それにとどまらず、採集した昆虫を飼育したり、どのような特徴があるのか調べたり、採集できた場所をマップに記したり、息をひきとった昆虫を標本にしたりと昆虫にまつわる活動は多岐に渡った。

〔事例18 No.41〕

虫捕り遊びを頑張っているのは、主にO児、P児、Q児の3人だが、その中でも今週いろいろなことに取り組んだのが、O児とP児であった。まず、これまでに残念ながら死んでしまった虫たちを「標本にする」とP児が言ってトンボやバッタの標本を作った。死んだ虫はとても優しく力を入れすぎたはいけない。とても繊細な作業であるが、じっくりと取り組んでいた。また、いつもの虫捕りも欠かさない。この時期、あまり捕れなくなってきたが、それでも捕れた虫の場所を虫MAPにシールを貼った。O児は小さい字も書くことができるので、捕れた虫の名前も書いた。P児は「虫の博物館を作りたい」という思いを持っている。虫捕り遊びが好きな友達同士で楽しみながら進めていってほしいと思っている。

(2019年10月 4歳児さくら組保育記録)

V まとめ

幼児の遊びを発展させるためにはどのような環境構成が有効であるかについて、過去6年間の実践記録をもとに考察を行った。その結果、固定遊具、園庭の中央、テラスに比較的多くの幼児が集まり、遊びを展開していることが分かった。そして、それぞれの場の特徴を押さえることが必要であることが分かった。

固定遊具については、その使い方に違いがあることや、その場のもつ大きな特徴がある。教師はそれを十分に理解した上で、幼児の遊びに沿うように構成していく必要がある。園庭の中央については、自分の保育室から程よい距離感で、動きの大きな遊びを展開することで、その遊びは発展するとともに、周囲の環境にも影響を及ぼし、遊び全体の雰囲気作用することが分かった。テラスについては、園庭とのつながりを意識して環境を整えることで、相互的に遊びが発展する。最後に、園庭の樹木については、教師が戦略的な遊びの見通しをもち、そのためにはどういう樹木を育てれば良いのかを考えながら選定していく必要がある。また、樹木の育ち方と配置で幼児の遊びが安定する場を作ることができるということにも注目していく必要がある。しかし、これらについては、溝田・宍戸・片平⁴⁾が言うように何年もかけて実をつけるような樹木を植栽するためには10年単位の長期的な計画が必要になる。園が大事にしたい価値や機能について園全体で考えていく必要がある。

これらの知見は、幼児が何を思い、何を考え、どのようにしたいのかといった思いをくみ取り、よりイメージ豊かに遊びを発展させるための教師の環境構成に資するものであると考える。

VI 今後の課題

本研究は、幼児の遊びを、時期や人数、夢中度、行われた場を主に注目して結果を導き出したものである。しかし、幼児の遊びを捉える一つの要素である「遊びの際の幼児のやりとり」については全てを網羅して得た結果とは言えない。本研究で得た注目すべき場について、遊びの際の幼児のやりとりを詳細に分析することで、さらに本研究の目的に迫ることができる。また、本研究はこれまでの実践を整理し、今後の

研究の土台とする意味合いもあり、幼児の遊びを俯瞰的に考察している傾向がある。今後は、一つ一つの遊びを季節的要因や園行事との兼ね合いなど様々な視点を加味してさらに詳しく分析することで、新たな知見を得ることができるのではないかと考える。

加えて、本研究は調査園の方針から屋外に限定して進めてきた。しかし、実際は保育室や遊戯室についても多くの事例があり、70事例あった。室内も屋外同様、幼児にとっては大切な遊びの場であり、室内の環境の有用性についても研究を進めていくことが必要であろう。

註

- (註1) 文部科学省 (2017) 幼稚園教育要領, フレーベル館
- (註2) 厚生労働省 (2017) 保育所保育指針, フレーベル館
- (註3) 内閣府, 文部科学省, 厚生労働省 (2017) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領, フレーベル館

引用文献

- 1) 中沢和子・小川博久 (1989) 保育内容・環境, 建帛社
- 2) 柴崎正行・若月芳浩 (2009) 保育内容「環境」, ミネルヴァ書房
- 3) 境愛一郎 (2012) 「境」としてのテラスは幼児にとってどのような場所であるのか, 保育学研究, 第50巻第3号, 75-85
- 4) 溝田浩二・宍戸佳央理・片平みちる (2020) 宮城教育大学附属幼稚園の樹木とその環境教育への活用, 宮城教育大学環境教育研究紀要, 第22巻, 31-38
- 5) 秋田喜代美・芦田宏・鈴木正敏・門田理世・野田隆子・箕輪潤子・淀川裕美・小田豊 (2010) 子どもの経験から振り返る保育プロセス, 「保育の質」研究プロジェクト
- 6) R.Caillois・清水幾太郎 (訳)・霧生和夫 (訳) (1970) 遊びと人間, 岩波書店

SUMMARY

Ichiro KOMORIYA:

What should be the Environmental Composition to Develop Play ?

– A Consideration Based on the Organization and Analysis of 6 Years of Childcare Practices –

This study looks back on the childcare practices as a kindergarten teacher so far, organizes the play of infants, and clarifies what kind of environment was effective for developing the play of infants. The environment in the park was limited to the garden and the terrace. As for the play of infants, it was found that a relatively large number of infants gathered in the fixed playset, the center of the garden, and the terrace to develop the play. Then, based on the case studies, it was clear that it was necessary to control the characteristics of each place and to create an environment with the teacher's perspective. In addition, it became clear that the existence of trees is an important factor in the environment of the garden, and it is necessary for teachers to have a prospect of play and think about planting.

(Uyo Gakuen College)

